



認定NPO法人

きらめき未来塾

2024



認定NPO法人

きらめき未来塾

2024

実施報告書

主催：特定非営利活動法人 きらめき未来塾

合宿スケジュール

	8/4 (日)	8/5 (月)	8/6 (火)	8/7 (水)	
6:00		起床	起床	起床	6:00
7:00		朝食	朝食	朝食	7:00
8:00		報徳社へ移動	報徳社へ移動	報徳社へ移動	8:00
9:00		鈴木静雄講師 「夢は必ず実現する！ 目標・実践・志を」	鷲山恭彦講師 「現代社会と報徳の考え方」	「夢の実現に向けて 中長期で必要となること」 各自発表 塾長講評	9:00
10:00		Q&A	Q&A	卒塾式 塾長より卒塾証書授与	10:00
11:00		ディスカッション 「夢を実現するために 今必要なこと」	ディスカッション テーマは当日発表	解散	11:00
12:00		昼食	昼食		12:00
13:00	集合 掛川グランドホテル 1F ロビー				13:00
14:00	入塾式 理事長挨拶・塾長挨拶 オリエンテーション チームビルディング	白川方明講師 「私が選んだ仕事」	土屋定之講師 「ビジョンの重要性」		14:00
15:00	「大学は君たちを待っている」 DVD鑑賞	Q&A	Q&A		15:00
16:00	ディスカッション 「私たちはなぜ 大学に行くのか」	ディスカッション 「自分はどんな道を選ぶのか」	ディスカッション 「将来のビジョンについて」	鷲山邸へバスで移動	16:00
17:00			鷲山邸 戸塚久美子 講師 「古民家で学ぶ掛川茶講座」		17:00
18:00	夕食	夕食	中国の留学生との交流		18:00
19:00			鷲山邸からホテルへ移動		19:00
20:00					20:00
21:00					21:00
22:00	21:30 消灯	21:30 消灯	21:30 消灯		22:00
23:00					23:00

表2

第16回きらめき未来塾を終えて

今年のきらめき未来塾（サマーセミナー）は、パンデミック（新型コロナ）に伴い、5年ぶりの開催になりました。そのため卒塾生から後輩への引継ぎがなかったこともあり、塾生は当初予定の半数（12名）に止まりました。これは一方で、塾生にとっては、まとまりやすく、かつ親密さも増すというメリットもありました。

塾生の最終日の発表を聞いたり、感想文を読んだりすると、「当代一流の講師をお招きし、学校の授業とは異なった視点から人生や社会に切り込んで頂き、それが高校生の琴線に触れ、この研修を契機に、自らの人生に思いを馳せ、日本や世界の将来について考えを巡らして頂きたい」とのわたくし共の狙いは果たせたものと思います。

加えて、小人数ゆえにより踏み込んだディスカッションができたことから、卒塾後も付き合える友人を見つけたとの話も聞きました。この点でもわたくし共の願いが叶ったのではと嬉しく思っています。ただ、多額のご寄付を頂いている篤志家の皆様のご厚志に報いるべき理事長の立場からすると、今回のきらめき未来塾は幾つかの反省すべき点が残りました。

来年以降、この課題を解決して参る所存ですので引き続きご支援の程宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人きらめき未来塾
理事長 住川雅洋

再開の「きらめき未来塾」

コロナ禍で中断していた「きらめき未来塾」の5年ぶりの再開は、掛川の大日本報徳社で始まり、東京、静岡、岐阜、愛知から高校生諸君が参集し、3泊4日間の切磋琢磨の時を持ちました。静岡大学の張盛開教授は、ミャンマー、インドネシア、ベトナム、中国の留学生たちに参加を呼びかけ、チューターとして活躍。双方にとって貴重な学びの場となりました。

今年のテーマは「新たな気づきを」で、建築会社リブランの鈴木静雄さんは、社員たちに「会社に来るな、地域に出勤せよ」と檄を飛ばし、社会問題の解決という企業の初心について語られました。日銀総裁を務められた白川方明さんは、学びの大切さ、人との出会いの大切さを語り、偶然を必然に変えていく意志の大切さなどについて話されました。文科事務次官だった土屋定之さんは、学問分野での日本の衰退を憂慮して、その打開の方向を示されました。私は二宮尊徳の実践思想である「報徳」について語りました。高校生にとっても大学生にとっても、初めて聞く話ばかりで、存在に強く触れる気づきをたくさん得ることが出来たと思います。

先日、横須賀高校主催の地元との交流会に出たところ、きらめき未来塾に参加した生徒から本当に良かったですと深い感謝の意が告げられました。出会い、気づき、自己変革の良き合宿となったことを、皆さんと共に喜び合いたいと思います。

塾長 鷲山恭彦

実施概要

「きらめき未来塾 2024」は、以下の要領により実施されました。

- 開催期間：2024年8月4日（日）～8月7日（水）
- 開催場所：公益社団法人 大日本報徳社
静岡県掛川市掛川1176番地
- 宿泊先：掛川グランドホテル
- 参加人数：全国の公立、私立高校から12名が参加

塾生一覧

- | | | | | | |
|------------|----|-------|---------|----|-------|
| ■東京都 | | ■静岡県 | | | |
| 都立一橋高校 | 3年 | 菅原悠乃進 | 飛龍高校 | 3年 | 高野和勇汰 |
| 明治大学附属高校 | 2年 | 栗山悠佑 | 飛龍高校 | 3年 | 秋山琳苑 |
| 富士見丘高校 | 1年 | 三木琴音 | 飛龍高校 | 3年 | 馬場翔也 |
| | | | 県立横須賀高校 | 2年 | 杉江光平 |
| ■岐阜県 | | | 県立横須賀高校 | 2年 | 寺田悠紀 |
| 岐阜聖徳学園高校 | 2年 | 篠田徒亜 | 東亜学園高校 | 1年 | 日高快斗 |
| ■愛知県 | | | | | |
| 愛知真和学園大成高校 | 2年 | 安藤詩菜 | | | |

※塾生氏名は報告書への掲載を希望された方のみ掲載しています。

留学生サポーター統括

張盛開 (チョウ セイカイ) 中国 静岡大学人文社会科学部 教授

サポーター

ス・レ・トゥン ミャンマー 静岡大学人文社会科学研究科人文社会科学部・経済学科1年
トラン・スアン・ヒェウ ベトナム 静岡大学人文社会科学研究科人文社会科学部・言語文化学科
張睿思 (チョウ エイシ) 中国 静岡大学人文社会科学研究科 院生2年
メイ・ナソ・タイ ミャンマー 静岡大学人文社会科学研究科人文社会科学部・言語学科1年
ジョフィナタニア インドネシア 静岡大学人文社会科学部 学部生 (3年生)

田中悠雅 (株)千雅 代表取締役
杉山直康 静岡県立横須賀高等学校 進路課・社会教育士 教諭
杉山倫教 静岡大学

サポーター兼メディカルスタッフ

田中隆雅 順天堂医学部附属病院 研修医 大学院生
田中聡史 日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌外科 医療法人 千雅 千雅医院 本部長

講義テーマ・講師



8月4日

『大学は君たちを待っている』

鷺山 恭彦

大日本報徳社社長
東京学芸大学 第10代 学長・名誉教授
公益社団法人 日本教育会会長

8月6日

『現代社会と報徳の考え方』



8月5日

『夢は必ず実現する！目標・実践・志を』

鈴木 静雄

株式会社リブラン 創業者
いたばし倫理法人会 創設者



8月5日

『私が選んだ仕事』

白川 方明

青山学院大学 特別招聘教授
元 日本銀行総裁



8月6日

『ビジョンの重要性』

土屋 定之

STS フォーラム専務理事
元文部科学事務次官
元ペルー共和国駐劄特命全権大使



8月6日

『古民家で学ぶ掛川茶講座』

戸塚 久美子

公益社団法人 大日本報徳社理事

8/4
日

講義1 「大学は君たちを待っている」 DVD 鑑賞

▶DVD 内容 対談 早稲田大学 第12代総長 故 西原春夫
東京学芸大学 第10代学長 鷺山恭彦
司会進行 きらめき未来塾 理事長 住川雅洋



https://youtu.be/VZnVRKsn77Q?si=ulqgJrzZJ4_mbOSq

「私たちはなぜ大学に行くのか」についてディスカッション

■塾生感想

大学は何のために行くのか分からず行かなくても良いのではないかと考えていました。未来塾では、夢を持った人たちがたくさんいて自分はこのままで大丈夫なのかと考えてしまいました。未来塾の中の講師の方の話を聞くことや、ディスカッションをすることの中で、今、夢が決まっていなくても大学に行ってからもっと広い視野で世の中を見ることもできると分かりました。



8/5
月

講義1 「夢は必ず実現する！目標・実践・志を」



鈴木静雄
株式会社 リブラン創業者
いたばし倫理法人会 創設者



■講義概要

千葉県館山から竹芝栈橋へ、歌声喫茶で知り合った弘子夫人と不動産屋でアルバイトをし、二十二歳で独立。二十五歳でリブランの前身会社を設立。その経営方針は「企業は社会運動体である。社員は会社に来るな、地域に出勤せよ」。

ナイチンゲールは「病の原因の半分は、住環境・環境に起因する」といった。リブランでは不動産住宅の問題を人間・家族・子どもの体と心の問題として捉え返し、ナイチンゲールの言葉を住宅マンション建設の根幹に据え開発、住宅を提供している。

夢は必ず実現する！そのためには志をいただき目標を持ち実践することである。

●資料 書籍「狂愚三昧の経営」鈴木静雄著 あさ出版／「天命の暗号」出口光著 あさ出版／企業紹介パンフレット他

■塾生感想

今の社会問題と自分の将来の仕事に絡めることが大切だとおっしゃっていました。鈴木先生の企業活動や考え方はとても個性的であり、私が考えたことのなかった考え方を持っていました。その個性的な考え方で仕事をしていることにとても衝撃を受けました。私はその個性的な考えと、若いころから何にも恐れずに行動をするという能力が必要だと気づくことができた講義になりました。

物事の本質を常に考え行動していくことで自分の夢の実現や社会の役に立つことに結びついていくのだと受け取りました。また、何かを成功させたいなら狂気を持って行動すること、覚悟が必要になると思いました。

8/5
月

講義2 「私が選んだ仕事」



白川方明
青山学院大学 特別招聘教授
元日本銀行総裁



■講義概要

今高校生だといっても、そう遠くない時期に大学を出て仕事につくことになる。仕事の意味や、どういう仕事を選べばよいのか、答えがあるわけではない。

39年間日本銀行に勤めた。高校生の頃の自分は、何も考えていなかったと思う。日本銀行についてもほとんど知らなかったし、そこで仕事をするなど全く思ってもいなかった。

最初からそうと決めていたわけではなく、偶然が重なってそうになった。総裁になったのも多分に偶然なことで、副総裁として国会で承認された時、総裁予定の人の議案が否決されたので、自分のところに回って来た。

日本銀行の仕事は非常に面白かった。やり甲斐があったと振り返られるのは幸せなことである。大切なのは、好奇心。好奇心を持っていると経験すると、知識が増える、人と共感する能力が高まる、謙虚さが身に着く、そして自分の意志を発見できる。

やりたいことを、自身では気が付いていないのかもしれない。出会いを大切にしたい。出会いは偶然が多いと言うが、自分の好奇心や意志の力が働く出会いもある。そういう意味で好奇心を持つことが重要だ。仕事は収入の多寡より、自分が満足する仕事をした方が良い。国際会議で議論することが多かった。その場合は圧倒的に英語でやり取りした。しっかり英語を学んでおくことも大切である。

●資料 国際大学卒業式挨拶

■塾生感想

常に好奇心を持つことの重要さです。人生は自分が思い描いた様に進むわけではありません。偶然が度重なったり、壁にぶつかったり、思わぬ事態が沢山あります。しかし、その中でも自分の意志で生業を見つけて自分の意志で行動しなければなりません。自分の意志を強く持つにはやはり好奇心が大切なのだ学びました。

常に謙虚さと好奇心を持ち行動することが大切だと話されていました。今まで、何かの分野において成功した人で偉そうにしていたり、他人を下げたりする人がいなかったように感じます。それは様々な人と出会い、様々な経験をしたからこそ身についた謙虚さなのかなと自分なりに考えました。また、その中でも好奇心を持って多くのことに挑戦し、多くのことを取り入れることができる人が常に成長し成功を収めることができると思いました。

8/6
火

講義1 「現代社会と報徳の考え方」



鷺山恭彦

大日本報徳社社長
東京学芸大学 第10代 学長・名誉教授
公益社団法人 日本教育会会長



■講義概要

報徳の考え方、方法は、江戸時代の思想家で実践家であった二宮尊徳が考え出した思想。二宮尊徳は地域に入って貧困の農村を豊かな農村に変えた。これが報徳思想となる。

報徳思想の一つに「一円融合」がある。物事は対立するものばかりであるが、これは対立していることを対立のままに捨て置かず、必ず円の中に入れて考えよう。対立はすぐに一致点が見いだせず、2年、3年、あるいは数十年かかる場合もある。しかし円の中に入れて考えれば、敵対的になることはない。

この考え方は日本や世界の問題を考える上でも大変重要な観点を示している。ロシア・ウクライナ戦争は、侵略したロシアが悪いと誰しも考えるが、「一円融合」の観点から見ると、様々な問題が見えてくる。

●資料 現代社会と報徳の考え方

■塾生感想

報徳の事をはじめ、人生への考え方や人間性の育成など、改めて理解しました。

「万象具徳」「以徳報徳」「積小為大」といった四文字熟語に興味を抱いた。



8/6
火

講義2 「ビジョンの重要性」



土屋定之

STS フォーラム専務理事
元文部科学事務次官
元ペルー共和国駐劔特命全権大使



■講義概要

学問分野における日本の衰退は問題である。この十年で論文シェアは3位から5位へ、注目度の高い引用論文数は6位から13位に落ちている。米国における国際共著相手国は中国がトップになり、日本はイタリアに抜かれ8位、分野別では10位以下に落ちて来ている。

こうした事態の中で、ビジョンの設定、到達目標をどうするか、創造的破壊といわれるイノベーションの在り方が課題となる。

ビジョンについては、現在の延長線上に描くのではなく、現在の延長線を越えたところに新しい地平を考えるべきであろう。でないと、あのワットの蒸気機関のような革命的な技術革新は生まれない。

●資料 ビジョンの重要性 目指すべき目標をどのように設定するか

■塾生感想

未来への進み方を学んだことです。未来に向かって進むためには、ただ目の前のことに集中するだけでなく、長期的な視野で物事を考えることが大切であると気づかされた。

「夢を持つことの重要性」について強調されていましたが、それ以上に印象的だったのは夢を具体的にするためのプロセスの必要性についてです。単に夢を見るだけでは、それは空想に過ぎず、現実的行動を伴わなければ実現不可能だということを明確に示されました。自分の夢を具現化し、それを達成するための現実的なステップを踏むことの重要性を学びました。

8/6
火

鷺山邸でのイベント

古民家で学ぶ掛川茶講座 アイスマもホットも、掛川茶を淹れてみよう
講師：戸塚久美子（大日本報徳社 理事）



留学生から留学した目的を一人ひとり発表。今後の進路についてディスカッションを実施。



松本様、黒田様に手打ち蕎麦をふるまって頂き、全員舌つづみを打ちました。



「夢の実現に向けて、中長期で必要となること」各自発表



■全体の感想

私はこの合宿に参加する前は、周りの目を気にして行動するばかりでした。そのため、どのような仕事が私に合っているのか考える時も、特に周囲からの評価を気にしてしまい、自分が本当にやりたい仕事をつきとめることが出来ませんでした。しかし、この合宿に参加した後では、自分が将来どのような職業に就くべきなのかの考え方が変わりました。もし私がこの合宿に参加したいと思わなければ、自分の本心を優先にせずに職業に就いて、後悔していたかもしれません。ですが、私はこの合宿に参加したことで、自分が将来どのようなことを学んで、どのような職業に就きたいのか、私自身の思いや考えを反さないような職業を決められるようになりました。そして、将来やりたい職業に対する心構えも変えることが出来ました。

4人の講師の方から、様々な考えと経験と知識を得ることが出来た貴重な経験となりました。そして、将来について改めて自分の気持ちと向き合って考え、未来の日本を背負う人になりたいと思う4日間となりました。

今回私がこのきらめき未来塾に参加して得たことは、新たな友と未来への進み方です。まず、新たな友についてです。きらめき未来塾を通じて、さまざまな考えや夢を持つ生徒と出会いました。普段の生活ではなかなか出会えないような人々と触れ合うことで、視野が広がり、異なる意見や価値観に触れることが出来ました。

私はまだ夢は決まっていません。だけれどみんなとディスカッションをしたり大人の意見を沢山聞いて気づいたことがあります。それは、今の自分が将来の自分に繋がっていることは間違いがないって言うことです。なので、将来の幅を広げられるように今私はできる限りのことを全力でやり、自分を愛して進みたいと思います。

この未来塾で幾多の経験をし、とても成長することができたと思います。このきらめき未来塾を通して、違う都道府県から来て、それぞれ考えを持った友達に出会い、自分の視野がとても広がった気がしました。今回できた友達は一生大切にしたいと思いました。

きらめき未来塾」での学びは、私にとってとても有意義なものでした。この塾では、通常の学校では学べない様々な知識を身につけることができました。単に知識を身につけるだけでなく、自分自身の成長を強く感じさせてくれるものでした。この経験を通して、未来への自信が湧き、さらに学び続けたいという意欲が高まりました。今後も、この塾で学んだことを活かしながら、自分の夢に向かって努力を続けていきたいと思っています。

私はきらめき未来塾を通してたくさんの高校生や講師の方、サポーターの方々と交流やディスカッションを通して様々なことを得ることが出来ました。夢、大学、将来、様々な視点から考えることで自分自身にもたくさんの変化がありました。

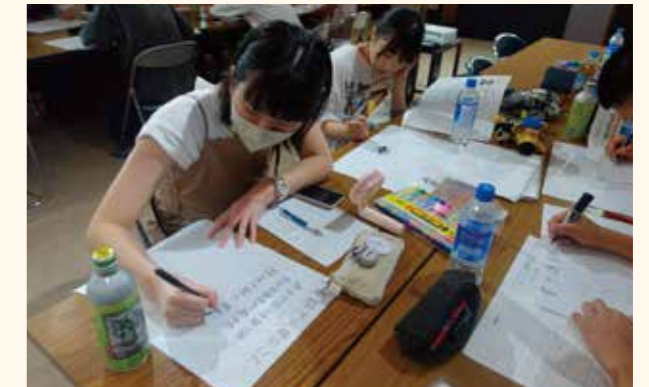
他の意見を聞き自分との違いを見つけることの重要性を学びました。そして、自分自身と真剣に向き合い将来について深く考える良い機会であったと感じています。ここで得たものを無駄にせずこれからも頑張りたいと思います。

私は、きらめき未来塾を通して講義をしてくださった方や参加者の高校生、サポーターの留学生の方の話や聞き、互いの意見を交換することで、これからの生活に生きる貴重な経験をすることが出来ました。2日目の昼食の際に、石塚先生に多くの質問ができ、今後の人生に生きるアドバイスをもらうことができたのも良い経験になりました。そして、グループディスカッションを通して意見をまとめる難しさもわかりました。

最後に、自分の夢をかなえるには、自分の人間性が1つの大きなポイントになると、きらめき未来塾を通して学ぶことが出来ました。



Photo Diary



特定非営利活動法人 きらめき未来塾

役員一覧 (2024年8月末日現在)

名誉理事長 (理事)	大竹 美喜	アフラック創業者
理事長	住川 雅洋	株式会社千雅 上席顧問 元 日本銀行 情報サービス局長
塾長 (理事)	鷲山 恭彦	大日本報徳社 社長 東京学芸大学 第10代学長・名誉教授 公益社団法人日本教育会会長
理事	石塚 隆正	株式会社 Global Ethics 経営研究所 代表取締役社長 元 東京三菱銀行 神田支店長
	内村 哲也	内村物産株式会社 代表取締役 社長
	木倉 敬之	全国健康保険協会 理事・理事長代理 元厚生労働省 保険局長
	久保 信保	一般財団法人 自治体衛星通信機構 理事長 衆議院議員選挙区画定審議会会長代理 元 消防庁長官
	熊平 美香	一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事 学校法人 日本大学顧問/文部科学省 中央教育審議会委員 昭和女子大学ダイバーシティ推進機構キャリアカレッジ学院長
	小山 秀高	東京都立大泉高等学校・東京都立大泉高等学校附属中学校 進路キャリア部 非常勤教員 元 東京都立大山高等学校 校長
	鈴木 静雄	株式会社リプラン 創業者 いたばし倫理法人会 創業者
	田中 千代美	株式会社千雅商事 代表取締役 会長
	林 浩美	森・濱田松本法律事務所 パートナー
	松田 康将	東京都議会議員・東京都議会自由民主党政調会長
監事	下村 昇治	下村パートナーズ税理士法人 代表社員

■■Special Thanks (手打ち蕎麦協力)■■

松本芳廣 様

黒田明憲 様

運営・事務協力

綱取清貴 公益社団法人 大日本報徳社 事務局長

山城亜希子 公益社団法人 大日本報徳社

小川雅子 公益社団法人 大日本報徳社

岡田真依

事務局

鍋島雅代

宮原あけみ

きらめき未来塾 2024 実施報告書

作成：きらめき未来塾事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 6-6-2 TEL : 03-6454-0114

E-mail : info@kiramekimirajuku.com

公式サイト : <https://kiramekimirajuku.com>